

様式C-21 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（様式C-19）を所定の期日内に提出できない場合に作成すること。
なお、本様式を提出する時点では、研究成果報告書（様式C-19）は、日本学術振興会に提出しないこと。

- (1) 「**標題**」
年度の記入に当たっては、補助金が交付された期間の最終年度を記入すること。
- (2) 「**機関番号**」及び「**研究機関名**」
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。
- (3) 「**研究種目名**」
「基盤研究（A）」、「基盤研究（C）」等の研究種目名を記入すること。
- (4) 「**研究期間**」
補助金が交付された期間（年度）を記入すること。
- (5) 「**課題番号**」
科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
- (6) 「**研究課題名**」
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
- (7) 「**研究代表者**」
 - ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1人を記入すること。
 - イ 研究者番号
府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号（科学研究費補助金研究者名簿に登録されている8桁の番号）を記入すること。
 - ウ 氏名（所属部局・職名）
姓と名の間は、カンマ（,）で区切る。また、部局名（略称可）、職名を記入すること。
- (8) 「**交付決定額**」
交付決定額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
- (9) 「**研究経過**」
この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。
- (10) 「**研究成果報告書を所定の期日内に提出できない理由**」
研究成果報告書として取りまとめられない理由、研究成果の公表を一定期間差し控える理由など、所定の期日内に提出できない理由を具体的に記入すること。
- (11) 「**研究成果の提出時期（予定）**」
研究成果の提出予定時期を記入すること。
なお、提出が可能となった時点（原則として次年度中（1年以内））で、すみやかに「研究成果報告書」（様式C-19）を日本学術振興会に提出すること。
- (12) 「**その他**」
この報告書は、原則として1枚で作成すること。